

THE JAPANESE JOURNAL OF  
HISTORY OF PHARMACY

薬史学雑誌

Vol. 35, No. 1.

2000

—目 次—

イタリア医薬史の旅 ..... i

特別企画

明治期の薬学校史  
 明治薬科大学の歴史 .....大島 融..... 1  
 明治時代の薬学教育—東北地方の部— .....小山 鷹二..... 7  
 明治時代の薬学教育—廃校となった数種の薬学校— .....小山 鷹二..... 10  
 明治期の(私立)東京薬学校 .....川瀬 清..... 18

総 説

シンボルとしての蛇と医・薬学—その史的考察— .....奥田 潤・清川理一郎..... 25

原 報

薬害エイズ(1980年代)とウレタンショック(1975年) .....伊佐 幸雄..... 41  
 江戸時代における樟脳の利用(2) 医療における樟脳と龍脳(2) .....服部 昭..... 49  
 ヨモギとオオヨモギの優劣について .....織田 隆三..... 55  
 新薬50年史 1 降圧薬の開発と変遷 .....小澤 光..... 63  
 (裏に続く)

THE JAPANESE SOCIETY FOR HISTORY OF PHARMACY

c/o CAPIJ, 4-16, Yayoi 2-chome,  
Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0032 Japan

薬史学誌

Jpn. J. History Pharm.

日本薬史学会

ノ ー ト

Traditional and Scientific Utilization of Medicinal Plants for  
the Treatment of Infectious Diseases by Microorganisms and  
Parasites in the Mayan Civilization Region

..... Jun MAKI・Masahiro KUWADA・Hiroshige AKAHANE・  
Hiroshi SAKAGAMI・Kazuki OGATA・Nancy GARCIA・  
Vivian MATTA・Armand CACERES・Isao TADA..... 72  
乾 杯 .....内林 政夫..... 75  
明治期以降の歯科専用薬物について .....松本 仁人・山田 光男..... 77

雑 録

会務報告 ..... 81

入 会 申 込 み 方 法

下記あてに葉書または電話で入会申込用紙を請求し、それに記入し、年会費をそえて、  
再び下記あてに郵送して下さい。

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

財学会誌刊行センター 内 日本薬史学会 事務局

電話：03-3817-5821 Fax：03-3817-5830

郵便振替口座：00120-3-67473, 日本薬史学会

# イタリア医薬史の旅

ローマ—フィレンツェ—ボローニア—ヴェネツィア—パドヴァ—ミラノ

1999年10月19日～28日 山川 浩司, 高橋 文



**コロッセオとコンスタンティヌス帝凱旋門**  
(10月19～20日) 修復中で付近のローマ時代の史跡では発掘が今も続いている。



**ヴァチカン広場**  
ローマ法王の説教集會に信者たちと大勢の観光客が集まっていた。野外のテントでの年老いた法王の古いイタリア語?の説教に、時おり信者たちが旗を振り歓声をあげていた。



**フィレンツェ**  
**ヴェッキオ宮殿**  
(10月20～23日) 第34回国際薬史会議の開会式の会場。宮殿前の広場にはダビデやネプチューン像があり、隣のウフィツィ美術館には多くの人々が集まっている。近くのアルノ川にはヴェッキオ橋がかかる。



第34回国際薬史会議シンボルマーク

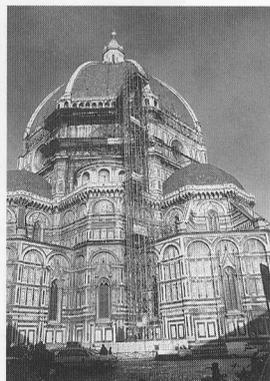


**国際薬史会議・開会式会場風景**  
10月21日午前前にヴェッキオ宮殿で行われた。開会式の挨拶はほとんどイタリア語であった。会場内の戦争画の壁画には圧倒される。



**国際薬史アカデミー会員証を受けた高橋 文会員**  
この会議中に国際的に権威ある国際薬史アカデミー会員証を受けた本会常任理事、高橋 文氏と推薦者のベルギー薬史学者 Bernard Mattelaer 氏。

**花の大聖堂**  
フィレンツェ市内の中央にあり、華麗を誇る大聖堂はフィレンツェを代表する建物、メディチ家の栄光を伝える。外装は美しく洗われて白、緑、赤の大理石に多くの彫刻像が飾られている。堂内に壁画や彫像などがあり見学者で賑わう。



**サン・マルコ広場**  
(10月23日) 海につくられた中世からの都市として世界から観光客が集まる。この日は昨夜来の雨による水害で、街の中心のサン・マルコ広場も水であふれていた。

**ヴェネツィア**



**リアルト橋**  
ヴェネツィア運河の中心にかかり多数の人々で賑わう。運河には名物の gondola 船が観光客を乗せて行き来している。

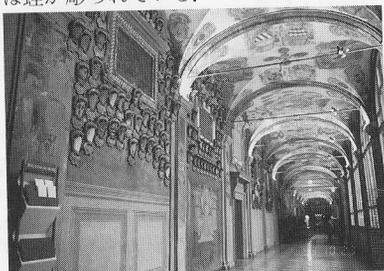


## ボローニア



**旧ボローニア大学**  
ヨーロッパ最古の大学を誇る。キルド集団が創建し神学、法学、医学の学生により運営された大学である。市内の中心にあって柱廊で建てられている。

**解剖学のガルバーニ像**  
(10月23日) ボローニアの街の中央のマジョーレ広場にある。蛙の筋肉をつかい解剖生理学を確立した。像に見られる台には蛙が彫られている。

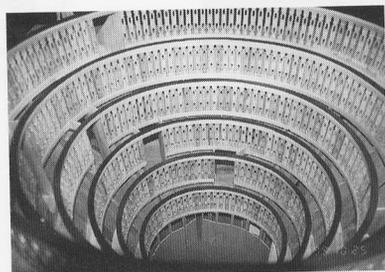


**旧ボローニア大学・解剖室**  
旧ボローニア大学の2階にあり、最古の解剖教室の壁には歴代の解剖学教授達の像が飾られている。第二次世界大戦で破壊された残骸を集めて復元されている。

**旧ボローニア大学の回廊**  
旧ボローニア大学の2階の回廊。壁に卒業生の家の紋章所狭しと飾られている。廊下の先は図書館になっている。



## パドヴァ



**パドヴァ植物園**  
(10月24日) ヨーロッパ最古の植物園として知られる。整備されている園内には日本からの大きな雌雄合体のイチョウの樹や鈴なりに実をつけた柿の木がある。ゲーテのシュロの樹が建屋の中に見られる。

**パドヴァ大学解剖教室**  
パドヴァ大学は12世紀のイタリア・ルネサンスを引張ったガリレオ、コペルニクスなどの人びとを輩出した解剖学のヴェザリウスが活躍した円形の解剖教室が注目される。



## ミラノ



**レオナルド・ダ・ビンチとその弟子の像**  
(10月25日) ミラノ市内のスカラ座の前広場にあり、市内にレオナルド・ダ・ビンチ科学技術博物館がある。

**ミラノ大聖堂**  
市内の中心地区にある。スカラ座からカレルヤ（最古アーケード）を抜けた広場にある。絢爛豪華なゴシック築に圧倒される。